

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和2年7月～8月）

令和2年7月～8月の白石踊に関わる高校生の活動について高校生自身に報告文を書いてもらいました。

1. 金光学園高校での白石踊講習会

令和2年7月18日(土)に金光学園高等学校で白石踊継承活動の一貫として白石踊講習会が行われました。昨年に初めて開催され、今回が2回目です。白石踊会笠岡支部の方々に講師としてお越しいただきました。

私自身は校内での講習会に参加するのは初めてでしたので緊張していましたが、一生懸命踊りを習っているうちに、段々と緊張もほぐれていき、気付いた時には白石踊りの魅力に体が引き込まれていく感じがしました。今回、初めて白石踊を体験する生徒が殆どでしたが、笠岡支部の方々から高校生は踊りの呑み込みが早いと褒めていただき、とても嬉しく思いました。

白石踊は一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、男踊・女踊・娘踊（月見踊）・笠踊・奴踊・扇踊など13種類の踊りがあります。中には短時間で簡単に覚えられる基本的な踊りもあり、とても奥が深く魅力的な伝統文化だと肌で感じました。



今回の講習会を通じて白石踊の魅力を知り、県内だけでなく県外、国外にも広まるように、今自分にできることは何だろうと、考えるようになりました。そして、より深く日本の伝統文化に触れていくことで次の世代の人達にも伝統を継承してもらいたいと思います。今回、私はこのような取り組みから白石踊に興味を持ち笠岡支部会員になりましたが、白石踊の後継者が少しでも増えてくれると嬉しいです。今回、白石踊を学校に教えに来てくださり、本当にありがとうございました。最後に支部長と記念撮影していただきました。

（文章：浅野夢）

2.愛媛大学 社会共創コンテスト 2020 奨励賞 受賞

愛媛大学の社会共創コンテストに私は白石踊を組み込んだ観光プランで地域活性化を目指そうと考え応募しました。地域課題部門に応募した 186 プランの中から奨励賞に選んでいただきました。

私の地元である藤戸では源平合戦が行われ、今でも多くの史跡が残っています。源平合戦自体はよく知られていますが、倉敷で行われた「藤戸合戦・水島合戦」や、水島合戦の戦死者を供養したことを起源とする白石踊などを知っている人は少ないようです。

そこで私は、全国から多くの人に訪れていただき、地元の歴史文化の認知度を向上させ、また、外出自粛で冷え込んでいる観光業界の状況を好転させる材料を提示したいと考えこのプランを計画しました。このプランを作る際、スケジュールを立てることなど難しいこともたくさんありましたが、この作業をすることで私も地元について再発見し、より深く知ることもできましたので楽しかったです。

この作品が入賞し、とてもうれしいのと同時に協力して下さった方に感謝しています。これからも地元の良さを全国に発信していくために、より一生懸命活動していきたいです。

(文章：今城慧郁)



3.福武教育文化振興財団のオンライン会議に参加

高校生が白石踊を学んだり発信したりする活動や、若い世代に白石踊を広めて一緒に後継者になってもらう活動に対して、福武教育文化振興財団から助成いただいています。井笠地域で福武教育文化振興財団から助成を受けて活動している団体が集まった初めてのオンライン会議が8月8日にありました。私たち兄弟は白石公民館で天野正館長と一緒に参加しました。

皆さんの活動内容を知ることができたり、大人の人と話すことができたりして勉強になりました。

(文章 山本誠、山本武)

写真は zoom 会議のスクリーンショット)



以上